

令和2年度 芳賀町立芳賀南小学校



学校評価

令和3年3月



学び合いの授業



ICTを使った授業



なかよし班共遊



避難訓練

○やりぬく心「将来の夢や目標に向かって学び、努力します」

No	項目	児童	保護者	No	項目	教師
2	学習への積極性	83.5	67.4	2-①	導入の工夫	100.0
3	学習内容の理解	95.7	75.2	2-②	個に応じた指導	100.0
8	分かりやすい授業	98.3	88.7	2-⑦	学んだことを生活に生かす指導	100.0
				10-②	授業研究会の実施と授業改善	100.0
5	家庭学習への取組	78.4	56.5	2-⑩	家庭学習の習慣化	89.5

考 察
学習への意欲がやや低い傾向が見られる。児童と保護者の意識の差が大きく、学習の理解度や意欲が不十分であると感じている保護者が多いことが分かる。コロナ禍のため教職員の研修の機会も少なかった。今後も教職員の資質や指導力の向上を進めていきたい。

○元気なあいさつ「心を込めてあいさつし、地域の人を笑顔にします」

No	項目	児童	保護者	No	項目	教師
6	挨拶や返事	92.2	77.4	4-②	規範意識・基本的な生活習慣	100.0
				4-★	みんなで守ろう「あいいうえお」	100.0

考 察
地域や家庭で挨拶ができない様子がうかがえる。家庭や地域との連携が必要である。

○正しい習慣「体と心をきたえ、健康に過ごします」

No	項目	児童	保護者	No	項目	教師
4	役割への取組	94.3	64.3	3-②	係活動への責任感と意欲付け	100.0
9	健康な体づくり	90.9	88.7	7-⑤	めあてをもって取り組む体力づくり	95.0
10	安全教育	93.9	88.3	8-③	交通安全教室、避	95.0
				8-④	難訓練等意識向上	

考 察
家庭での役割分担などをして、家庭での自己有用感も育てていけるとよいのではないか。今後とも保健安全指導を推進していく。

○思いやりの気持ち「命の大切さを理解し、いじめを許さず、友情を育みます」

No	項目	児童	保護者	No	項目	教師
1	楽しい学校生活	91.8	93.4	4-④	いじめのない学校づくり	100.0
7	思いやり・親切	89.2	90.4	5-③	個を大切にした学級経営	100.0
15	子供との触れ合い	90.9	95.7	6-①	児童の共通理解と校内支援体制	100.0

考 察
良好な回答が得られている。今後ともよりいっそうの指導を継続していきたい。

○誇れるふるさと「美しい自然と良き文化を大切にします」

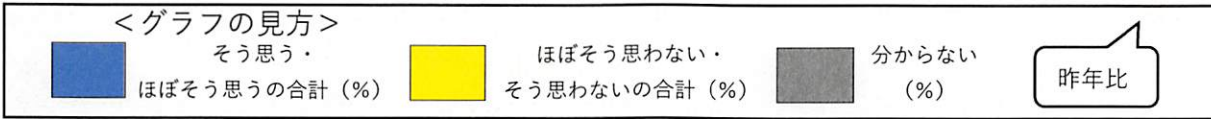
No	項目	児童	保護者	No	項目	教師
13	保護者や地域との協力	89.3	90.8	13-③	地域人材の活用	100.0
12	連絡帳・お便りを見せる、読む	86.1	80.0	12-②	工夫したお便り等の作成	100.0
17	HPやお便りの情報提供		90.5	12-①	学校便り、HP等情報提供	100.0
16	相談、要望への対応		88.7	13-②	学校行事への参加の機会を設定	89.5

考 察
コロナ禍で学校行事等が中止されたため、参加を求める要望が多かった。昨年度に比べ、お便り等を親に見せない児童、読まない保護者の割合も増えた。情報提供の仕方や内容を更に検討していく必要がある。

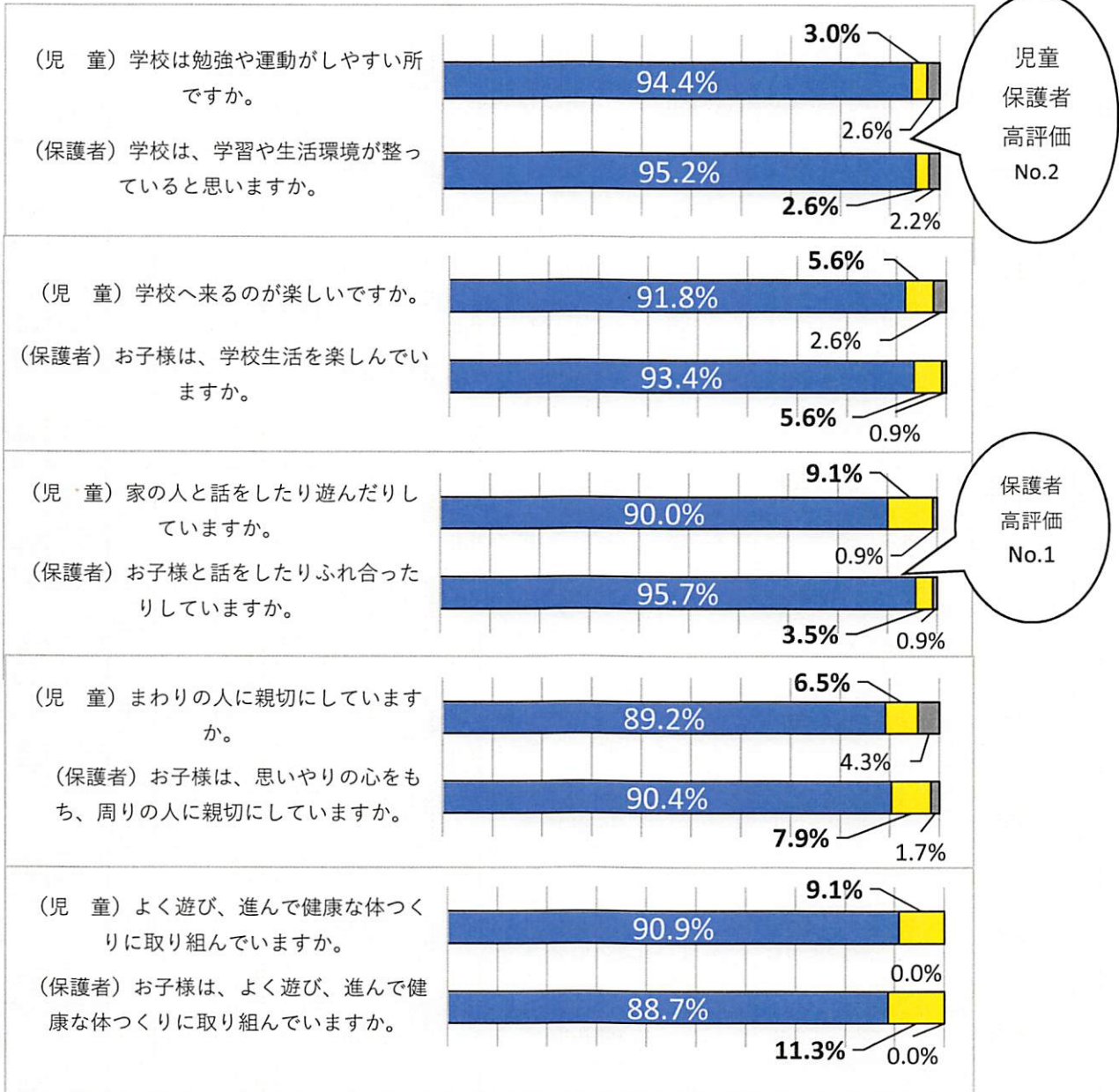
令和2年度 児童・保護者アンケート結果から

☆ 児童の肯定的な回答が85%以上の項目…15項目中13項目 (86.7%)

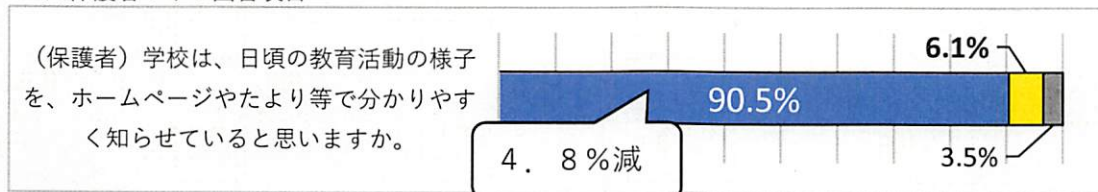
☆ 保護者の肯定的な回答が85%以上の項目…17項目中11項目 (64.7%)



1. 児童、保護者共に肯定的な回答が85%以上の項目

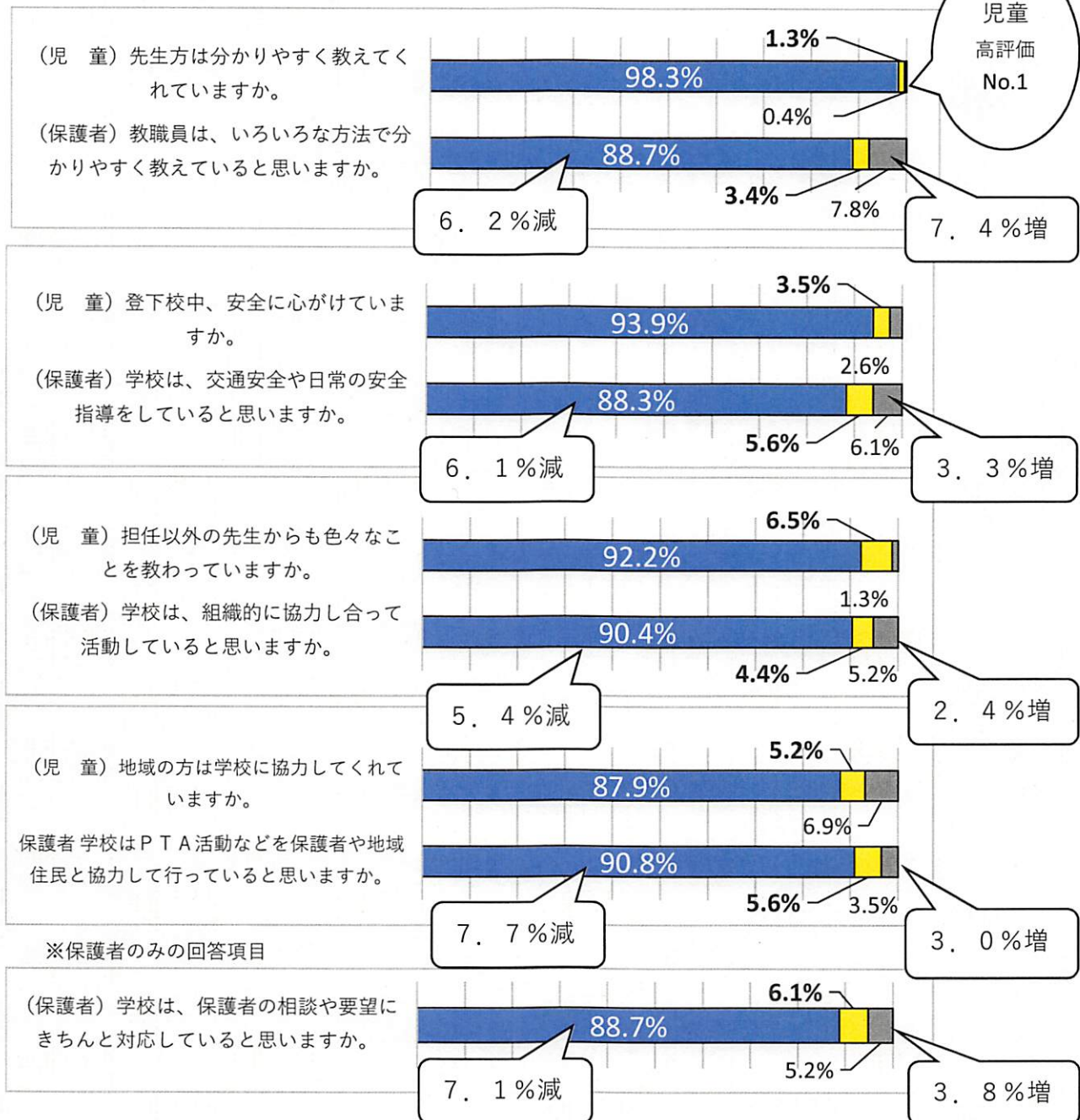


※保護者のみの回答項目



☆保護者の肯定的な回答の割合が85%は超えているものの、肯定的な回答が昨年度より5%以上減少している項目が5項目ありました。

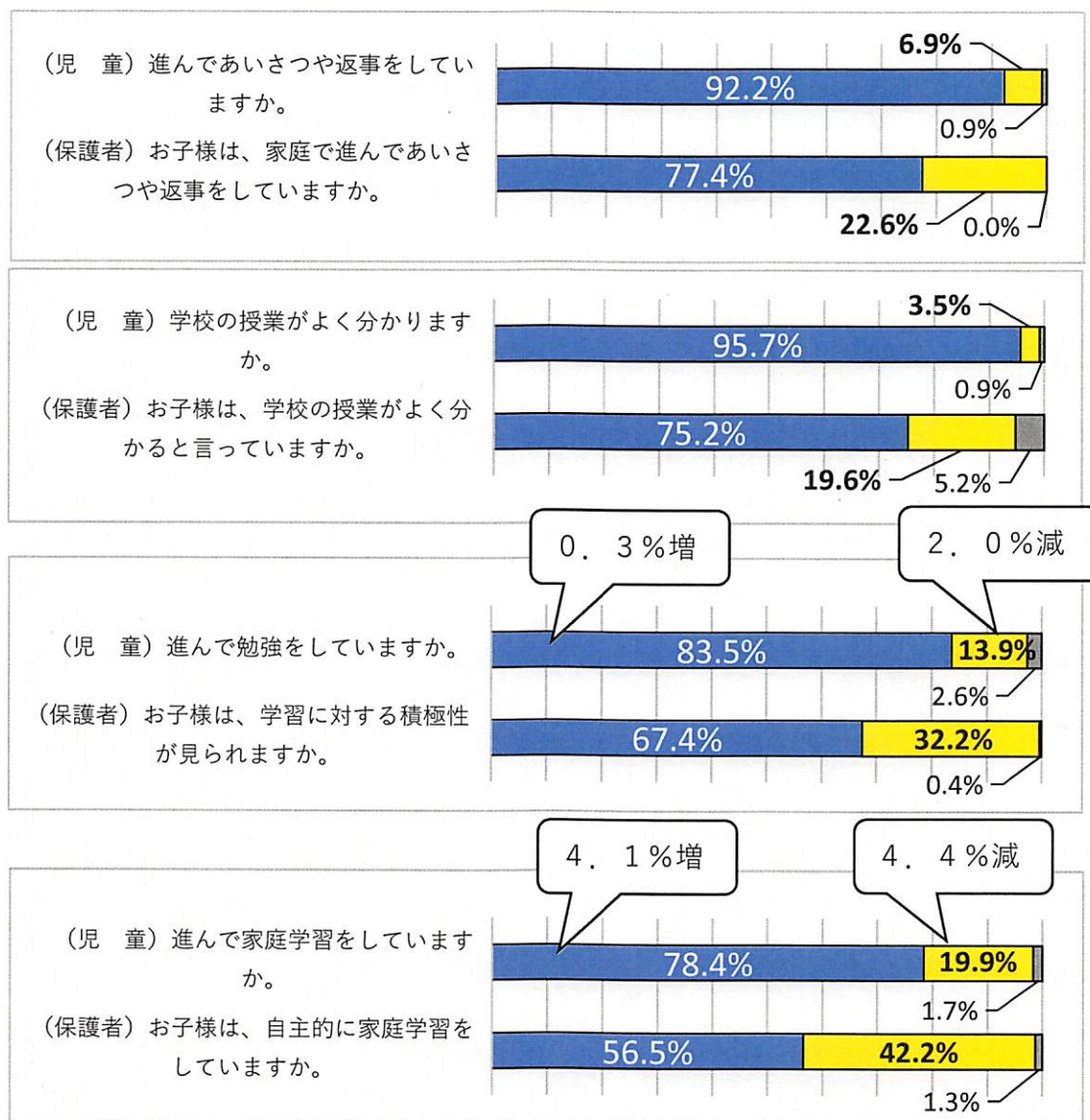
児童
高評価
No.1



新型コロナウイルス感染症予防の点から、例年実施していた授業参観や運動会、労力奉仕などの各種行事や活動に保護者や地域の方が参加する機会を設定することができなかつたため、肯定的な回答が減少したと考えられます。(アンケートの自由記述で、同様のご意見が多数寄せられました。) また、5項目全てで「分からない」の回答率が昨年度より増加していることや、「学校は、日常の教育活動の様子を、ホームページや便り等で分かりやすく知らせていると思いますか。」の肯定回答も減少(昨年度比4.8%)していることから、情報発信が十分でなかつた様子もうかがえます。今後の各種行事のもち方や情報発信のしかたの検討・改善が必要だと考えています。

2. 児童、保護者いずれかの肯定的な回答が85%以下の項目

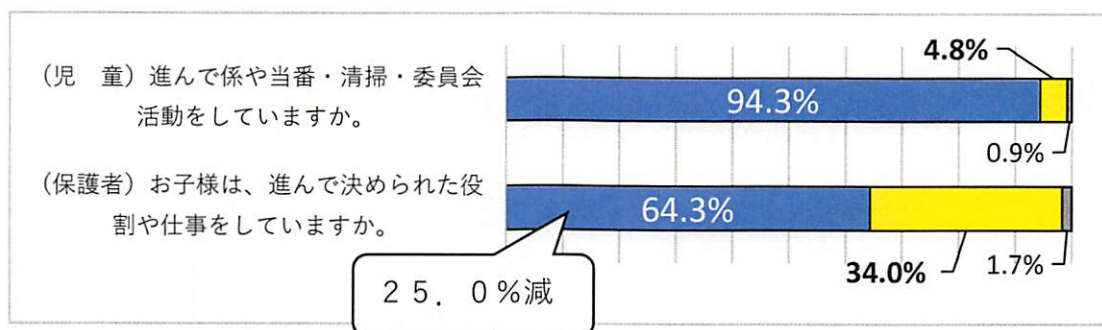
以下の6項目を見ると、児童の回答と保護者の回答の数値の差が大きいことが分かります。つまり、児童はできていると感じていることが保護者目線では十分でなかったり、学校ではできているのに家庭ではできないことがあったりするなど、児童と保護者間での捉え方や、学校と家庭での児童の姿にずれがあるのではないかと考えられます。



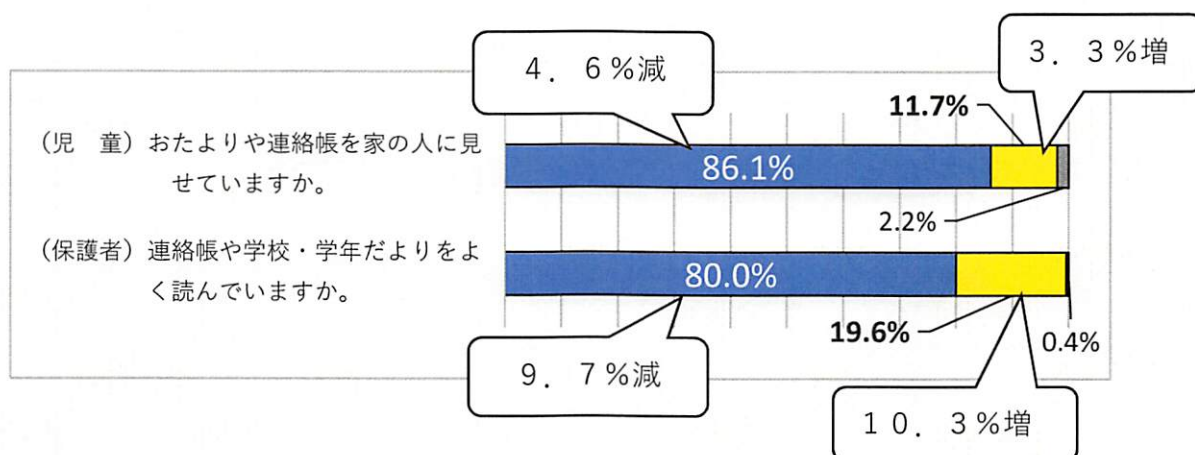
※以上の4項目は、昨年度も保護者アンケートで課題と捉えられていた項目ですが、今年も同様の結果が見られました。中でも、学習に対する積極性や主体的に家庭学習に取り組む態度については保護者も児童も肯定的な回答の割合が低く、特に課題となっています。

しかし、これら2項目について、児童の回答を昨年度と比較してみると、「そう思わない・ほぼそう思わない」の回答が減り、肯定的な回答が増えていることが分かります。少しずつではありますが、課題の改善傾向が見られています。

・以下の2項目は昨年度と比べて、特に変化の大きかった項目です。



※昨年と比べて肯定的な回答に25%の減少が見られます。家庭の中で児童の役割を決め、「自分は家族の大切な一員である」という自己有用感や家族への所属感を高めていくのも大切なことです。意欲的に取り組めるような意欲付けを図り、うまくいったら称賛するようにしましょう。



※今回のアンケートでは、お便りや連絡帳を家の人にあまり見せない児童や連絡帳や学校・学年だよりをよく読まないと回答する保護者が、昨年度に比べ増加（児童3.3%増、保護者10.3%増）していることが分かりました。児童の成長という目標を達成するためには、学校と家庭の連携は欠かせません。お忙しいとは存じますが、連絡帳やお便りに目を通していただけるようお願いするとともに、学校からもよりよい情報発信ができるように工夫・改善をしていきたいと思えます。

新型コロナ感染症予防に配慮しつつ、今年度も「学び合い」の授業を続けてきた結果、友達と協力しながら主体的に学ぼうとする児童が増えてきている様子がうかがえます。学習に、粘り強く取り組める児童も増えています。学校だけでなく、家庭でも主体的に学んだり行動したりできる児童を育てるため、各家庭との連携を図りながら、学習や生活の指導を継続していきたいと考えています。今後とも更なる御理解と御協力をお願いいたします。

.....<自由記述から見える学校のよい点>.....

「校舎、体育館、校庭等が広くてきれい。」「図書室の本がたくさんある」「電子黒板がある」などの施設設備面、「給食がおいしい」ことや「他学年と仲がいい」「みんなが親切」など、例年と同様のよい点が挙げられました。また、「教師が子どもの様子をよく見ている」「教師がすぐに連絡、対応してくれる」「相談しやすい」「先生方の関係がよさそう。連携が取れている」など、教職員にとって励みとなるような回答もたくさんいただきました。「校長先生が毎朝元気な挨拶で迎えてくれる」などの回答も複数ありました。

今後とも、校長の元気な挨拶とリーダーシップのもと、児童や保護者にとって安心・安全な学校であり続けるよう、また地域の皆様の拠点である地元の学校となれるよう、家庭や地域の御協力をいただきながら教職員一同、よりよい学校づくりを進めていきたいと思っております。

.....<自由記述から見える改善点と回答>.....

改善点については、少数意見が多く、内容も多岐にわたっています。ここでは、比較的人数の多かった以下の点について回答させていただきます。

○「授業参観がしたい」「運動会が見たかった」「卒業式に参加させてほしい」「行事への参加を保護者に相談してほしい」「学校の様子が見えない」「相談日を設けてほしい」など12名

今年度は、新型コロナウイルス感染症の流行があり、たくさんの学校行事や児童の活動が制限されました。学校独自で実施や保護者の参加について判断したものもありますが、町全体として統一されていたものもあり、例年のような保護者や地域の方の参加を伴う行事がほとんど実施できませんでした。保護者の皆様には、お子様の成長や学校での様子が見えにくく、多くの不安もあったのではないかと思います。コロナウイルスにつきましては、3密を避ける等の予防対策の研究も次第に進んできました。それらの対策を取りながら、今年度内の行事への保護者の参加も検討しているところです。次年度からにつきましても、感染症の流行の状況や保護者の皆様の御意見も参考にしながら、安心安全で地域に開かれた学校づくりに努めていきたいと思っております。心配なことや相談したいこと等がありましたら、いつでも大丈夫ですので遠慮なく学校に御連絡ください。

○「子供同士が競い合う場を減らす」など3名

「運動会の徒競走をやめる」「持久走大会をなくす」などの世論がある一方で、児童から「持久走大会がまたやりたい」などの意見が聞かれたり、新学習指導要領では、従来から実施されてきた学校行事等を学校の特色として生かした学校づくりを行っていくよう定められたりもしています。貴重な御意見として参考にしながら、次年度に向け、学習活動や学校行事が新学習指導要領のねらいに沿っているかを精査し、その結果適切であるかどうかを判断しながら行事を計画していきたいと考えております。御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

○あいさつのできる子が少ない 2名

保護者アンケートでも、「進んであいさつや返事ができる」に対して、「そう思う」が29.9%、「ほぼそう思う」が47.7%でした。学校でも、校長はじめ教職員が日々指導を行っています。学校と家庭とで連携をして、共に指導を繰り返していくことが定着につながっていくと考えておりますので、御家庭でも、あきらめず繰り返し御指導して下さるとありがたいです。朝晩の「おはよう」や「おやすみなさい」のあいさつから始めてみてください。よろしくお願いいたします。

★その他の御意見につきましても、今後改善できるものは改善していきたいと思っております。たくさんの貴重な御意見、ありがとうございました。